

# 申告書の書き方

(令和5年1月1日から12月31日までの収入状況を申告してください。)

※ [ ] の部分には何も記入しないでください。

提出期限は、2024年4月10日(水)です。

1【住所・世帯主氏名欄】  
住所・世帯主名・連絡先を記入してください。

2【昨年の職業欄】  
大学名を記入してください。

3【申告区分欄】  
収入がなかった方は「エ、無収入」に○をしてください。

(あて先) 長崎市長

## 令和6年度国民健康保険税申告書

(令和5年1月1日から12月31日までの期間における収入及び所得の報告です。)

※ [ ] の部分には何も記入しないでください。

現住所	長崎市 魚の町 丁目4番(地)1号			被保険者番号	[ ]
フリガナ	ココホ タロウ	自宅	822-8888	受付 月 日	
世帯主氏名	国保 太郎	携帯			
個人番号	123456789123	勤務	829-1226		

4-④専従者給与(専従者給与のあるかたについて記入してください。)

専従者氏名	専従者給与額	事業主住所	事業主氏名
記入不要			

※専従者給与については別添「申告書の書き方」を参照してください。

※確定申告等の控除対象配偶者・被扶養者等は国保税の申告が必要です。(この書類の提出が必要です)  
※「申告区分」のア～エに該当しない場合は4-①～4-⑥の欄に金額を記入してください。

NO	国保整理番号 氏名 生年月日	世帯主との続柄	2 令和5年中の職業又は勤務先	3 申告区分 ※下記ア～エの該当するものに○をつけてください。前年中に収入がなかった場合は、必ず「エ、無収入」に○をつけてください。	4-①給与収入金額 ※専従者給与は記入しないでください。(4-①欄に記入) (円)	4-②事業所得及びその他の所得金額 (円)	4-③専従者控除額 ※事業主のかたで控除を受けた金額を記入 (円)	4-④公的年金収入金額 ※遺族・障害年金を除く (円)
1	国保 太郎 平成 14 年 10 月 9 日	世帯主	〇〇大学	ア.確定申告・市県民税申告済(月 日) イ.公的年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)	867,500			
2	[ ]	[ ]	[ ]	ア.確定申告・市県民税申告済(月 日) イ.公的年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)				
3	[ ]	[ ]	[ ]	ア.確定申告・市県民税申告済(月 日) イ.公的年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)				
4	[ ]	[ ]	[ ]	ア.確定申告・市県民税申告済(月 日) イ.公的年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)				
5	[ ]	[ ]	[ ]	ア.確定申告・市県民税申告済(月 日) イ.公的年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)				
6	[ ]	[ ]	[ ]	ア.確定申告・市県民税申告済(月 日) イ.公的年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)				
7	[ ]	[ ]	[ ]	ア.確定申告・市県民税申告済(月 日) イ.公的年金を受給 ウ.勤務先等で源泉徴収済 エ.無収入・非課税収入のみ(遺族・障害年金等)				

4-⑥譲渡所得記入欄(土地・建物などの売却をした場合)

氏名	物件の所在地	収入金額	必要経費	差引金額	特別控除
[ ]	[ ]	円	円	円	円
[ ]	[ ]	円	円	円	円
[ ]	[ ]	円	円	円	円

記入不要

注 この申告書は、前年に収入がなかった場合や遺族年金・障害年金等の課税対象にならない収入(非課税収入)のみを受給されていた場合も提出する必要があります。(申告区分のエに○を記入)  
※無収入・非課税収入の証明書を添付する必要はありません。

4-①【給与収入金額欄】  
アルバイトにより給与収入があった方は、1年間の総収入金額を記入してください。

※裏面もご覧ください。

所得の証明書がとれないかたは裏面の計算書もご記入ください。

所得が把握できないと、国保税の減額の特例が受けられません。